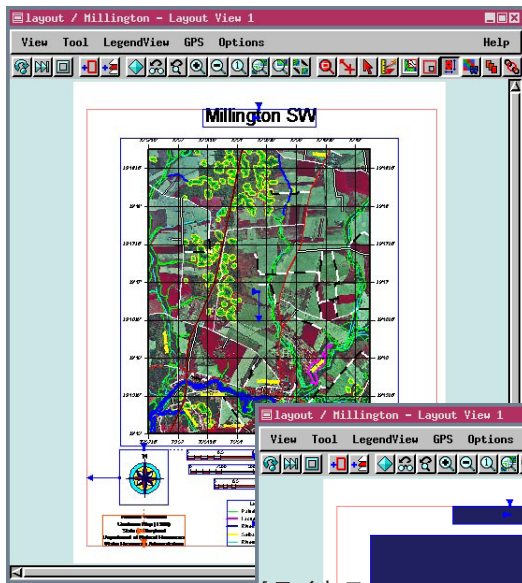


ワイヤフレームを使った マップレイアウトツール



新しい [レイアウト配置 (Placement)] ツールは、レイアウト中のグループの位置やアタッチの関係 (グループ間の連結) の両方を視覚化して変更できるグラフィカルな手段を提供します。さらに、ワイヤフレームモードを使うと位置を表わすボックスとアタッチの関係を表わす矢印を表示して、配置作業の間のレイアウトの再描画時間を短縮できます。

レイアウトに配置するグループを変更するのに、〈レイヤコントロール (Layer Controls)〉 ウィンドウでアクティブグループに変更する必要はもうありません。表示ウィンドウの中で動かしたいグループを単にクリックするだけです。クリックしたグループはアクティブグループとなり、アタッチの情報が〈グループ設定 (Group Setting)〉 ウィンドウに表示されます。

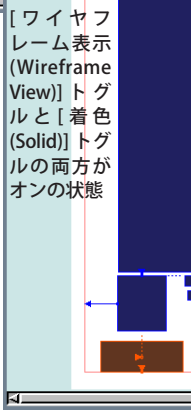


アタッチの矢印をドラッグすると、グループの位置を変えずにアタッチの設定が変わります。アタッチの矢印をドラッグすると、マウスを放した時にアタッチしようとしているグループを示すために、アタッチを示す破線が1つのグループから別のグループへ描かれます。アタッチの設定を変更する際、そのグループはアクティブグループである必要はありませんが、アタッチがアクティブグループでない場合、〈グループ設定〉 ウィンドウに表示している情報は、アタッチに変更があっても反映されません。

[レイアウト配置] ツールは、マウスをクリックした位置によって結果が変わる状況応型のカーソルになっています。

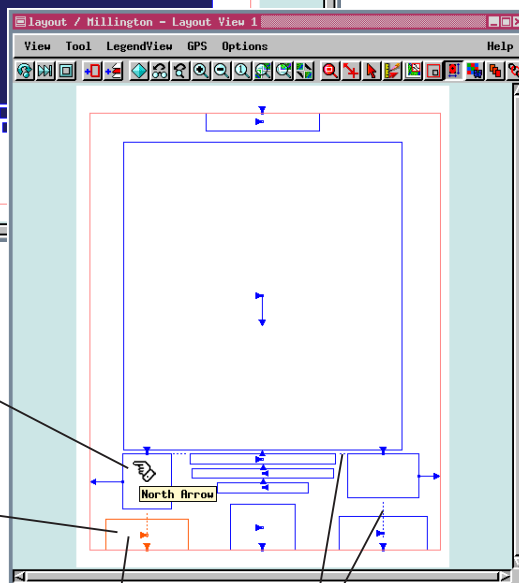
- ☞ 左手カーソル: アクティブでないグループの上にマウスカーソルがあるとき表示されます。クリックするとそのグループはアクティブになります。
- ✚ 十字型矢印カーソル: カーソルはアクティブグループの上に位置しており、それをクリックしてドラッグすると、アクティブグループとそれにアタッチされている他のグループが移動します。
- ⇔ 両端に矢印が付く (ダブルアロー) カーソル: クリックするとアタッチの矢印をつかみます。
- ☞ 左矢印カーソル: カーソルがこの形の時は関連するアクションはありません。

[レイアウト配置] ツールがアクティブの場合、右マウスボタンメニューが利用でき、それによってツールの表示モードの変更が可能です。グループの位置を表わすボックスの中でクリックした時だけメニューに [ロックスケール (Lock Scale)] の選択肢が現れ、そのグループのスケールがロックされ、拡大縮小できなくなります。



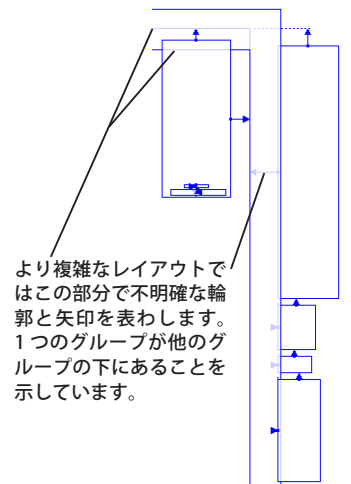
Horizontal Attachment		Vertical Attachment	
To...	Margin	To...	Files
	Left to Left		Top to Top
Spacing:	0.7500	Spacing:	0.0000
Width:	1.1108	Height:	1.2500
Horizontal Attachment		Vertical Attachment	
To...	North Arrow	To...	Margin
	Center to Center		Bottom to Bottom
Spacing:	0.0000	Spacing:	0.0000
Width:	1.8754	Height:	0.7059

新しいグループの上でクリックしてアクティブになった時、〈グループ設定〉 ウィンドウの情報は自動的にアップデートされます。



アクティブグループは異なる色で示されます。

破線は他のグループへのアタッチを示します。



より複雑なレイアウトではこの部分で不明確な輪郭と矢印を表わします。1つのグループが他のグループの下にあることを示しています。